

再生エネルギー
向けでは、どこに
使われているの？



再生エネルギー

クリーンエナジーを支える確かな技術

当社では長年培ってきた技術力を活かし、風力発電機用駆動装置や太陽熱発電向け太陽追尾駆動装置など、環境分野においても積極的に事業拡大しています。

●製品紹介

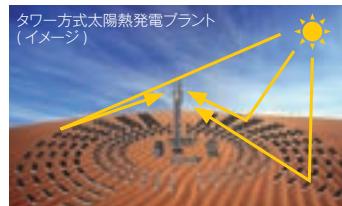
風力発電機向け



風力発電機用駆動装置

風向きに応じて風車の方向を回転させる「旋回駆動装置 (YAW)」と風力に応じて風車の羽根の角度を調整する「ピッチ駆動装置 (PITCH)」があります。独自の減速機技術を応用し、すぐれた耐久性、軽量・コンパクト化を実現、市場から高い評価を得ています。

太陽熱発電向け



太陽追尾駆動装置

太陽熱発電タワー方式は、今後もっとも普及すると見込まれている方式です。太陽追尾駆動装置 (旋回軸) はタワー方式太陽熱発電プラントにおいて、太陽光を反射させる鏡 (ヘリオスタット) を太陽の動きに追尾させて中央タワーへ集光するための装置です。

第10期 中間 株主通信

平成24年4月1日 ▶ 平成24年9月30日

証券コード: 6268



●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座にて管理されていらっしゃる株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などにて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。



国内事業基盤のさらなる強化を推し進めながら、引き続きグローバルな発展に向けて邁進いたします。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。ここに当社第10期(2013年3月期)中間期の営業状況をご報告申し上げますとともに、今後の事業展開についてご説明させていただきます。

代表取締役社長 **小谷和朗**

Q まずは当中間期の営業概況や取り組みについて教えてください。

減収減益となりましたが、国内自動ドア事業の強化に向けた布石を打つことができました。

当中間期の連結業績は、売上高906億円(前年同期比7.2%減)、営業利益75億円(同37.9%減)、経常利益84億円(同35.8%減)、当四半期純利益65億円(同22.0%減)と減収減益となりました。

事業別に振り返りますと、スイスのGilgen Door Systems AG買収による第1四半期分の売上増があった産業用機器事業では増収となりましたが、国内外で産業用ロボットメーカーによる在庫調整が行われた精密機器事業、中国向けの売上が減少した輸送用機器事業、中国における建設機械需要の減少が大きかった航空・油圧機器事業で減収となりました。

しかしながら当中間期には、西日本地区における当社製造の自動ドアの販売施工会社として、大阪証券取引所市場第2部に上場しておりましたナブコドアを、株式交換によ

て本年8月1日付けで完全子会社化いたしました。完全子会社化に伴い、ナブコドアの上場は7月27日付けで廃止となりましたが、資本関係を一つにして製販一体となった効率経営を構築し、国内自動ドア市場の潜在ニーズに応える高付加価値製品と高度サービスを開発・提供することで、両社のさらなる企業価値の向上を目指してまいります。

Q 長期ビジョンを策定されましたが、今後ナブテスコとして目指す姿について教えてください。

「グローバルに成長し続けるベストソリューションパートナー」を目指すため、グループ社員全員の共通する価値観である「ナブテスコ ウェイ」を制定しました。

本年5月に策定した長期ビジョンでは2020年度における当社の目指す姿として「グローバルに成長し続けるベストソリューションパートナー」を打ち出し、経営目標として、連結ベースで「売上高4,000億円」「営業利益600億円(営業利益率15%)」「ROA11%」「ROE18%」の達成を掲げております。

長期にわたってグローバルに成長を続ける上では、グローバル人材の増員・増強が欠かせませんが、単に陣容を拡大するだけではなく、地域・国籍を問わずオールナブテスコで価値観を共有してナブテスコグループとしての一体感の醸成や求心力の向上を図ることも重要です。そこで、本年10月には「ナブテスコ ウェイ」を制定し、企業理念・ナブテスコの約束を社員一人ひとりの仕事への取り組み姿勢や判断の拠り所として共有する行動指針を明文化しました。

「社会とともに成長する『21世紀生まれの老舗企業』を目指して」という“なりたい姿”を掲げ、グローバルに展開する当社グループ社員全ての価値観を一つにすることで、21世紀に生まれたナブテスコを、老舗企業と認めていただける企業に成長させていきたいと考えています。

(ナブテスコ ウェイについては次ページにて解説しています)

Q 通期の見通しについて教えてください。

厳しい環境の継続を見込み通期の業績予想を修正しましたが、成長が期待できる分野への展開を積極的に進めてまいります。

下半期以降につきましては、欧州債務危機による金融不安の長期化や中国経済減退の影響を受け、上半期に顕著に見られた中国建設機械市場や産業用ロボット市場での需要の鈍化等厳しい状況が続くものと思われま。これらを勘案し、通期の連結業績予想を修正し、売上高1,850億円(前期比6.8%減)、営業利益170億円(同25.6%減)、経常利益192億円(同22.1%減)、当期純利益143億円(同3.1%減)としました。

しかし一方で、前期に実施したGilgen Door Systems

AGの買収および、前述のナブコドアの完全子会社化による国内外自動ドア事業の強化等、拡大が期待できる分野があります。特に、精密減速機の分野においては、これまでも産業用ロボット向けでは世界最大のサプライヤーとして実績を積み上げてまいりましたが、本年5月には、タワー方式太陽熱発電プラントに設置される太陽追尾駆動装置(旋回軸)を新たに受注(年度内に納入予定)しており、精密減速機の太陽熱発電分野での事業展開が始まります。

先行き不透明な事業環境が続くと予想されますが、成長の期待できる分野への展開を積極的に行い収益拡大を図ってまいります。

Q 最後に株主の皆さまへ、一言お願いします。

期末配当金は期初予想より下方修正をしましたが、配当性向を基準とした安定配当の維持を続けてまいります。

当社は、株主の皆さまへの利益還元について、当社グループ全体の業績をベースに戦略的な成長投資、財務健全性の確保、株主還元のバランスおよび安定配当を考慮した企業収益の適正配分を図ることを当社の配当方針としています。

この方針に基づき、当中間期末の配当金は前中間期末より1円増配し1株当たり18円とさせていただきますが、期末配当予定については通期連結業績予想の下方修正に伴い誠に遺憾ながら18円と修正させていただきました。

当社を取り巻く環境は厳しい状況が続くと思われま。しかし、全社一丸となって乗り越えていけるよう尽力してまいりますので、株主の皆さまにおかれましてはこれからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会とともに成長する「21世紀生まれの老舗企業」を目指して

『ナブテスコ ウェイ』

ナブテスコグループの一体感を高めるため、企業理念、ナブテスコの約束に加え、これらを実践するための具体的な行動指針を新たに定め、総称して『ナブテスコ ウェイ』と名づけました。

【企業理念】

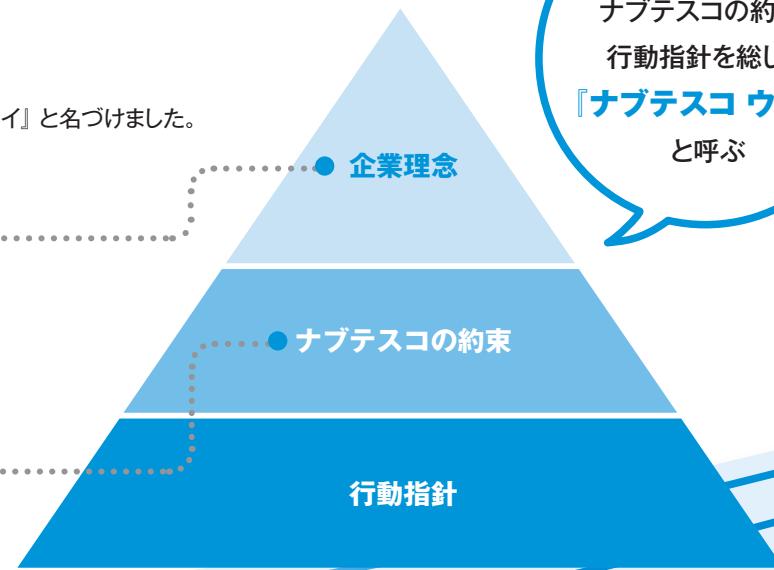
ナブテスコは、独創的なモーションコントロール技術で、移動・生活空間に安全・安心・快適を提供します。

【ナブテスコの約束】

1. 世界のお客さまとの親密なコミュニケーションを大切にします。
2. 一人ひとりのチャレンジ精神と変革意識を大切にします。
3. 利益ある成長を続けます。
4. 高い透明性と倫理観を持ち続けます。
5. 地球環境に配慮し、地域・文化との調和を図ります。

The Nabtesco Way

ナブテスコウェイ



企業理念と
ナブテスコの約束、
行動指針を総して
『ナブテスコ ウェイ』
と呼ぶ

ナブテスコグループ長期ビジョン：2020年度の目指す姿

グローバルに成長し続ける
ベストソリューションパートナー

2020年度の
経営目標

売上高
4,000億円

営業利益
600億円

21世紀
生まれの
老舗企業

2015年

2020年

中期経営計画基本方針（2012年3月期～2014年3月期）

Global Challenge : Advance to the Next Stage
海外成長市場でさらなる飛躍へ

海外事業の強化・拡大とグローバル経営の推進、
及び国内基盤の強化により、大グローバル競争時代を勝ち抜き、
永続的な企業価値増大を目指す。

2012年

インタビュー

オールナブテスコで価値観を共有し、さらなる成長の実現を目指す

Q なぜ『ナブテスコ ウェイ』を制定したのですか。

当社は2003年に設立以来、海外拠点の設立や積極的なM&Aによって、グループ・関連会社を含め、世界の至る所でビジネスを行うまでになりました。しかし、さまざまな文化が加わることで「ナブテスコらしさ」が見えづらくなり、グループとして一体感を育みづらい環境になってしまいました。そこで今回、『ナブテスコ ウェイ』を制定することで、ナブ

テスコグループで働くすべての社員の間に一つの価値観を共有できれば、グループ全体が同じベクトルを向いて進んでいけるのではないかと考えました。

『ナブテスコ ウェイ』は「ナブテスコDNA策定委員会」を編成し、OBの方、現役の方へのインタビューから「ナブテスコらしさ」をお聞きし、将来身につけるべきワードを付け加え、委員会メンバーを中心に何度も議論を行い、最終的に『ナブテスコの約束』を実践するための『行動指針』を明文化しました。

Q 『ナブテスコ ウェイ』を通じて目指すことはなんですか。

『ナブテスコ ウェイ』で一番社員に伝えたかったことは「仕事を進める考え方」です。仕事をしていれば必ず困難にぶつかることがあります。例えばビジネスのやり方が二通りあったとして、どちらか一つの選択肢を選ばなくてはならない場面がある時に、その際の判断基準にしてほしいと考えています。判断に迷ったとき、『ナブテスコ ウェイ』に立ち返り行動を選択してもらいたいと思います。『ナブテスコ ウェイ』を実践することで、お客さまの夢、ひいては全てのステークホルダーの夢を実現する会社を目指していきます。

代表取締役 専務取締役
企画本部長 兼
ものづくり革新推進室長

坪内 繁樹

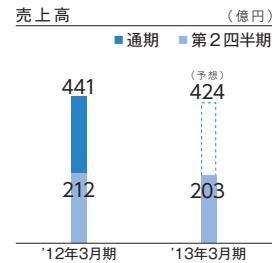
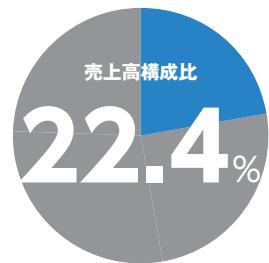


自動ドア事業などが好調な産業用機器事業は増収となったものの、そのほかの事業分野で中国における景気減速などの影響を受け減収減益となりました。

精密機器事業



事業内容 精密減速機、精密アクチュエーター、三次元光造形装置、真空装置など



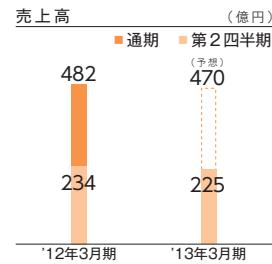
精密機器事業の売上高は前年同期比4.6%減少の203億円、営業利益は同45.6%減少の21億円となりました。

精密減速機は、国内外の産業用ロボットメーカーによる在庫調整の影響を受けて減収となりました。

輸送用機器事業



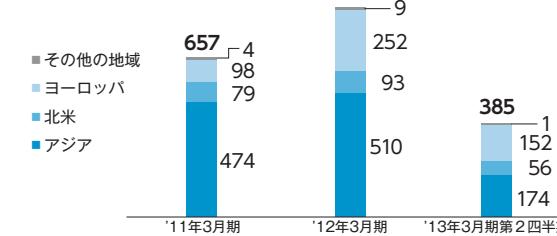
事業内容 鉄道車両用ブレーキ・ドア装置、船用エンジン制御装置、商用車用エアブレーキ装置など



輸送用機器事業の売上高は前年同期比3.9%減少の225億円、営業利益は同21.8%減少の24億円となりました。

鉄道車両用機器は、中国向け売上の減少により減収となりました。商用車用機器は、トラックの新興国向け需要拡大が寄与し増収となりました。船用機器は、船舶市況停滞の影響を受けて減収となりました。

海外売上高 (億円)

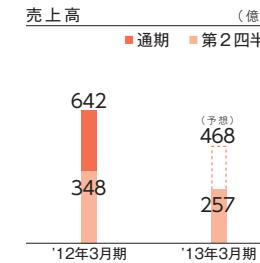
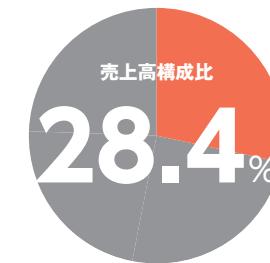


スイスのギルゲン社買収による欧州向け売上増があったものの、油圧機器及び鉄道車両用機器などにより中国向け売上が減少し、海外売上高比率は低下しました。

航空・油圧機器事業



事業内容 航空機用機器、建設機械用走行モーター、風力発電機用駆動装置など



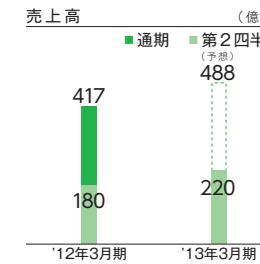
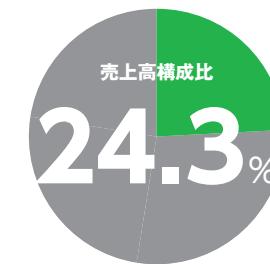
航空・油圧機器事業の売上高は前年同期比26.2%減少の257億円、営業利益は同56.7%減少の16億円となりました。

油圧機器は、中国における建設機械需要減の影響を受けて減収となりました。航空機器は、民間航空機需要拡大が寄与し増収となりました。

産業用機器事業



事業内容 建物用自動ドア、食品向包装機械、専用工作機械など



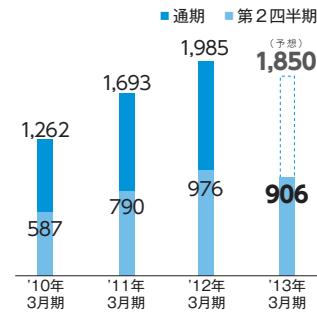
産業用機器事業の売上高は前年同期比22.3%増加の220億円、営業利益は同4.7%増加の13億円となりました。

自動ドアは、国内需要が回復基調であることや、スイスのギルゲン社の四半期分売上の計上により増収となりました。包装機は、主に海外向け拡販が寄与し増収となりました。

連結決算情報

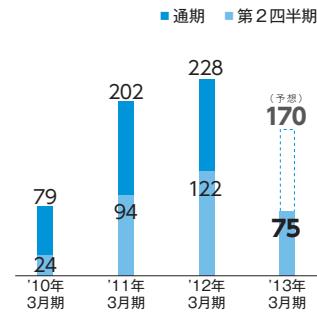


売上高 (億円)



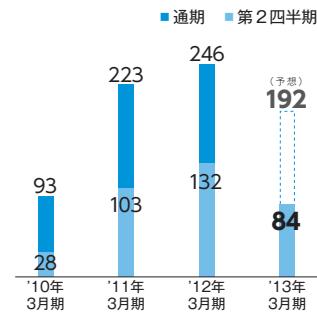
ギルゲン社の売上分が第1四半期に計上されたものの、中国における建設機械需要減の影響などを受けて、減収となりました。

営業利益 (億円)



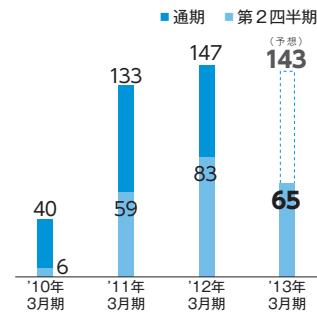
売上高が減少し、減価償却費および販管費が増加したことなどから営業利益は減少しました。

経常利益 (億円)



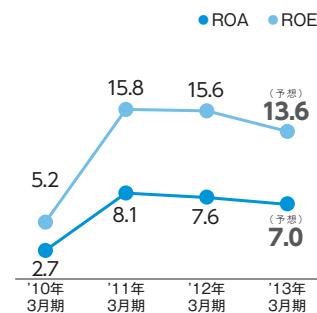
主な減少要因は営業利益の減少によるものです。営業外収益は持分法による投資利益の減少等により減少、営業外費用は為替差損の増加等から増加しました。

四半期(当期)純利益 (億円)



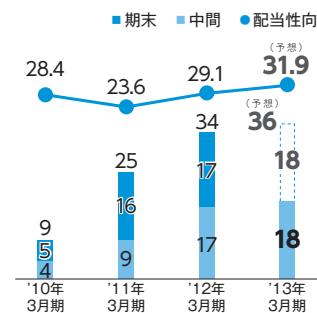
特別利益は、ナブコドア株式会社の株式交換完全子会社化に伴う負のれん発生益を計上したこと等により増加しましたが、経常利益の減少により減少しました。

ROA/ROE (%)



ROA・ROEを意識した経営の推進をしましたが、利益の減少により、2013年3月期末はROA7.0%、ROE13.6%となる見通しです。

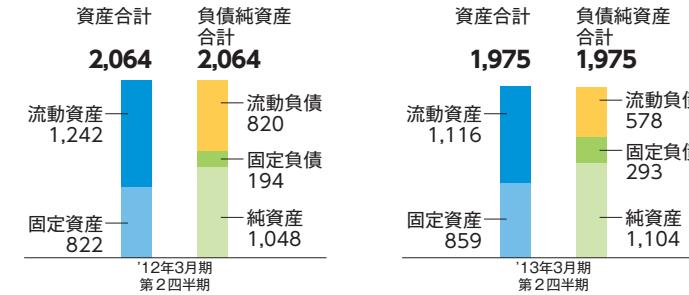
配当/配当性向 (円/%)



配当については、連結ベースの配当性向30%を目標に、安定した配当の継続を目指しています。

年間配当は前期に比べ2円増配の36円を予定しています。

財政状態 (億円)

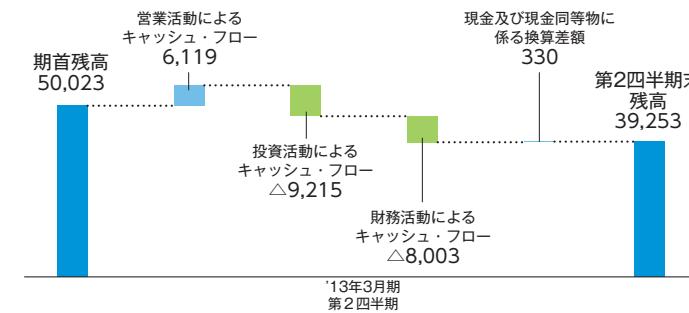


資産は資金運用変更による有価証券の減少などにより減少しました。

負債は短期借入金が増加したことなどから減少しました。

利益剰余金の増加や、ナブコドア株式会社を完全子会社とする株式交換により資本剰余金が増加したため純資産は増加しました。

キャッシュ・フローの状況 (百万円)



税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少により営業活動によるキャッシュ・フローは増加となりました。一方で設備投資などの影響により投資活動によるキャッシュ・フローは減少し、借入金の返済や配当金の支払いにより財務活動によるキャッシュ・フローが減少したため、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は減少しました。

設備投資額・研究開発費・減価償却費 (億円)

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期(見直し)
設備投資額	48	63	135	120
研究開発費	37	39	52	52
減価償却費	54	53	66	80

TOPICS
4月

■サーボモーター取付用 高精度・高剛性減速機「RD2シリーズ」発売

産業用ロボットなどに搭載されているRV減速機をベースとした、ギアヘッドタイプのサーボモーター用高精度・高剛性減速機「RD2 シリーズ」を発売。従来のストレート入力タイプに、直入力タイプとブリー入力タイプを新たに加えました。RV減速機の特徴である「高精度」「高剛性」「高信頼性」を継承し、一般産業分野における高精度位置決めや高荷重搬送などの用途で使われます。

CHECK!

TOPICS
5月

■タワー方式太陽熱発電プラント向け「太陽追尾駆動装置」を受注

太陽熱発電プラントのEPC事業者Cobra Thermosolar Plant社(米国)から、太陽熱発電プラントに設置されるタワー方式太陽熱発電プラントにおいて、太陽光を反射させる鏡(ヘリオスタット)を太陽の動きに追尾させて中央タワーへ集光するための装置である太陽追尾駆動装置(旋回軸)を受注しました。



RD2 中実シリーズ

TOPICS
6月

■「第23回設計・製造ソリューション展(DMS)」出展

当社グループのシーメット株式会社がCAD、CAE、ERP、生産管理システムなどの製造業向けのITソリューションが一堂に出展する専門展に出展。製造業の設計・開発・生産部門・経営企画・情報システム部門等の皆さまが多数来場され、同社ブースにも多くの方に足を運んでいただきました。



ヘリオスタットに装着された太陽追尾駆動装置

TOPICS
7月

■ナブコドア株式会社の完全子会社化

近年の国内自動ドア市場の構造変化を踏まえ、新たな市場の潜在ニーズを敏感・迅速に把握しこれに合った付加価値製品とサービスを提供するために、製販一体による意思決定の迅速化と実行力の向上を実現するため、当社グループであるナブコドア株式会社を株式交換により完全子会社化しました。



第23回設計・製造ソリューション展

TOPICS
8月

■欧州に民間航空機器のサービス拠点を設立

近年の民間航空機増産を踏まえ、航空会社向けのMRO(Maintenance "Repair&Overhaul")ビジネスの急速な伸びが期待できることから、民間航空機器のサービス拠点として「ナブテスコ エアロスペース ヨーロッパ」をドイツのデュッセルドルフに設立しました。欧州におけるMROの拡大を目指した営業・サービス活動を開始します。



インテリジェントecoドアシステム

TOPICS
9月

■「インテリジェント eco ドアシステム」第6回キッズデザイン賞を受賞

人の動きを読み取り、横切り通行による不要な開閉を削減する自動ドアシステムが「目的外の幼児の出入り防止」や「両手がふさがっている際やベビーカーを押している際の出入りが容易になる」として、子供だけでなく不特定多数の方が通行するシーンへの利便性を高く評価いただきました。

会社概要 (2012年9月30日現在)

会社名	ナブテスコ株式会社	従業員数	単体 2,075人 連結 5,119人
設立	2003年9月29日	連結子会社	国内11社(他持分法適用会社6社) 海外31社(他持分法適用会社3社)
所在地	東京都千代田区平河町二丁目7番9号		
資本金	100億円		

役員 (2012年11月1日現在)

取締役会	業務執行体制
取締役会長 松本 幸和	最高経営責任者 小谷 朗
代表取締役社長 小坪 三和	専務執行役員 谷内 繁
取締役専務 小坪 三和	常務執行役員 上岡 志
取締役 今村 博	常務執行役員 片岡 博
取締役 青井 博	執行役員 青井 博
取締役 本井 隆二 (非常勤)	執行役員 横山 孝
取締役 藤井 信晃	執行役員 橋本 勉
取締役 山井 信	執行役員 坂本 信
監査役 高石 三	執行役員 吉川 敏
監査役 丸田 信正	執行役員 伊牟田 幸
監査役 石山 三	執行役員 寺本 克弘
監査役 丸田 信正	執行役員 坂井 宏
監査役 石山 三	執行役員 藤中 賢
	執行役員 松岡 宏泰

株式状況 (2012年9月30日現在)

発行済株式の総数	128,265,799株
株主数	12,381名

所有者別株式数比率 (2012年9月30日現在)



大株主 (2012年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
①株式会社神戸製鋼所	15,100	11.80
②STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	5,847	4.57
③JP MORGAN CHASE BANK 380055	5,361	4.19
④東海旅客鉄道株式会社	5,171	4.04
⑤日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,820	3.77
⑥帝人株式会社	4,469	3.49
⑦日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社神戸製鋼所口)	4,011	3.13
⑧GOLDMAN, SACHS & CO. REG	3,797	2.97
⑨RBC IST LONDON-CLIENTS ACCOUNT	3,666	2.86
⑩TAIYO FUND, L. P.	3,386	2.65